

平成30年12月21日

磐田市議会議長 増田 暢之 様

会派新磐田 代表者 加藤 文重 

会派視察研修等報告書

会派視察研修等の結果について、磐田市議会政務活動費の交付に関する規則第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

期 間	平成30年11月15日(水) ～ 平成30年11月15日 (木) 1日間
視察先 研修会 日程	(1)半田市 11月15日(木) 時間：午後13時～午前14時50分
参 加 議 員	芥川栄人、加藤文重、寺田辰蔵
調 査 事 項	<p>❖愛知県半田市 「地域総合型スポーツクラブ」について △訪問先-NPO 法人 ソシオ成岩スポーツクラブ 平成8年3月設立</p> <p>◇質疑事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 全中学校区に設置出来た経緯と現状について (2) クラブの運営について (3) 地域・学校との連携や指導者の育成等について (4) 中学校の各種大会(中体連等)への参加方法について
調 査 内 容 考 察	別紙のとおり

(注) 視察研修の調査内容及び考察は、視察先ごとに詳細に記入する。
調査事項等に係る資料等を添付する。

《視察先》愛知県半田市…健康子ども部スポーツ課、NPO法人ソシオ成岩スポーツクラブ

人口119,428人、世帯数50,668世帯、面積47.42km²

半田市は、知多半島の中央部東側に位置し、海運業、醸造業などで栄えてきている。「山車」「蔵」「南吉(ごんぎつね)」「赤レンガ」が半田市の象徴となっている。産業別就業人口は、第1次756人、第2次19,930人、第3次33,235人の構成である。

議会の定数は22人、3つの常任委員会と2つの特別委員会が設置されている。

《調査内容》

半田市内5中学校の全校区に総合型地域スポーツクラブを設置し、スポーツだけでなく文化活動から地域活動までを、地域や学校、行政が夫々の役割を担い運営している。その中でも平成8年から活動し、他のクラブのリーダー的役割も担っているソシオ成岩スポーツクラブを視察した。

(1) 全中学校区に設置できた経緯と現状

学校の週5日制完全実施を前の平成6年に、学校と地域の自発的取組みとしてクラブづくりが成岩地区で始まり、翌年、文部省指定総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業の推進母体となり、平成8年度、成岩中学校区に成岩スポーツクラブを設立、平成10年からは全市展開となり、市が半田スポーツ健康推進協議会を設置し平成11年から平成14年にかけて全中学校区への設立となった。背景には市の第1次スポーツ振興計画、第2次スポーツ振興計画が大きく寄与している。

現状は、5クラブ全会員は7,689人、主にスポーツ推進員が指導に当たっているが、全日本クラスによる指導と人材育成も実施している。

(2) クラブの運営について (ソシオ)

運営費用の主な財源は、会員(2,728人)会費が約1970万円、事業収入4643万円等で収入合計8638万円となっている。支出は事業費4957万円、管理費1687万円他で合計6748万円である。クラブの拠点施設は、学校地域共同利用型施設で成岩中学校敷地内にある。アリーナやトレーニング室の他に会議室や研修室・浴室・更衣室・調理室等が備わっている。会員を優先し会員の延べ利用数は平成29年度実績で60,447人である。尚、会員の使用料は無料となる。

(3) 地域・学校との連携や指導者の育成について

クラブそのものの運営が地域の会員により成り立っているように、スポーツだけでなく、地域活動や文化活動まで幅広く行われている。それを支えているのがスポーツ推進員や半田市独自の地域認定スポーツアシスタントと呼ばれる多くの地域の人たちである。この制度は3年ごとの更新と研修会受講が必要ですが、認定を受けると市内の社会体育施設の個人利用が減免されます。また一段上のアスリート養成講座やスキルアップにはプロの指導者も招聘する。

(4) 中学校の各種大会(中体連等)への参加方法について

全中学校区にクラブが設立された平成14年3月に、部活動は土日祝日には行わず、地域のスポーツクラブで活動することとなった。中学部活は全員がクラブ会員となり土日も活動が行われてきたが、会費や指導者との方向性等といった課題や問題が発生したため、平成24年度から学校長の判断で部活動が実施できることになり現在に至っている。尚、中体連への参加は学校単位となる。

《考察》

クラブ設立から23年が経過しているが、運営の方法も事業や地域・学校との関係も実にうまくいっており感心せざるを得ない。市からの補助金は当初設立から6年間(1140万円)交付を受ける。どのクラブも前3年間と後3年間に分けた交付がされている。総額ではどのクラブも同じであるが、前3年間はクラブ事情により年度別交付額に違いをつけている。

成岩地区では会員が毎年増えており特筆すべきことである。年会費は他の4地区よりも圧倒的に高く設定されているが、それでも増えているのは施設利用を無料としている点で、アリーナにあるお風呂は、たまにあるが家族のお風呂代わりに利用しているケースもあることを聞き、ほほえましくもあり驚きでもある。

未就学児から12年間の一貫指導のスポーツクラブや高齢者や親子向けの教室、またアスリート育成教室等が開催されているが、いずれも地域の多くの皆さんが関わりを持っている点は範となるものである。市が総合型スポーツクラブを念頭に、当初からスポーツ推進計画の中にしっかりと盛り込み、それを確実に地域の実情を聞きながら地域主導で進めたことが大きな成功の要因の一つといえる。

大変参考となるシステムであり、財政的にも自立できている点は参考としたい。